

発行：大学 e ラーニング協議会 広報委員会
委員長：福村 好美（長岡技術科学大学）

1. 2011 年度代表幹事校 ご挨拶

2011 年度代表幹事校
熊本大学 喜多 敏博

2011 年度は、熊本大学が大学 e ラーニング協議会の代表幹事校を務めます。

昨年度代表幹事校の金沢大学で開催された「総会・フォーラム 2010」は多くの参加者を得て様々な議論が行われ、とても立派で有意義な集会でした。熊本大学の番で質や量を低下させないように精進したいと思います。

2011 年度に入って、東日本大震災によって引き起こされた諸問題への対応・支援が各分野で広がってきていますが、大学 e ラーニング協議会においても授業が円滑に実施出来ない等で困難に直面している大学に対してサービス提供を行うために、事務局を中心として取り組みが始められています。この震災対応の取り組みをはじめ、e ラーニングに関連する種々の事項についての連携を全国の大学に広げるために、熊本大学として貢献できる知見と言えるものがあるならば、お役に立てることができるよう活動してゆきたいと思っております。

本年度も事務局は千歳科学技術大学、監査校は帝塚山大学にお務めいただきます。よろしくお願いたします。

【2011 年度 運営体制】

- 会長：岡本敏雄（電気通信大学）
- 代表幹事校：熊本大学 ■監査校：帝塚山大学 ■事務局校：千歳科学技術大学
- 幹事校：金沢大学 関西大学 熊本大学 佐賀大学 信州大学 帝塚山大学
電気通信大学 長岡技術科学大学 千歳科学技術大学

2. 総会・フォーラム 2010 開催報告

2010 年度代表幹事校
金沢大学 堀井 祐介

総会・フォーラム 2010 が 2011 年 3 月 25 日（金）金沢大学角間キャンパスで開催され、北海道から九州・沖縄までの全国の大学から 60 名以上が参加しました。

自然科学棟レクチャーホールでの総会（13:00-13:30）に先立ち、幹事会が開催され、今回の東日本大震災で教育環境に影響の出た大学を支援するために大学 e ラーニング協議会として e ラーニング活用による支援として何が出来るのか、具体的にどのような形で支援を提供できるのかについて話し合いが行われました。総会では、予算・決算承認、活動報告などのほか、上記支援についての議論も行われました。なお、ここでの議論は、それを骨子として、その後も継続して行われ、4 月 22 日（金）に「大学 e ラーニング協議会、ニフティ、住商情報システム 被災大学を支援する インターネットを活用した高度教育基盤の提供を開始」としてプレスリリースされました。

フォーラム（13:30-18:30）では、岡本会長の挨拶の後、東京農工大学大学教育センター准教授加藤由香里先生の基調講演「e ラーニング・導入・実践から e-Pedagogy へー内部質保証に向けた教育改善情報の管理と活用ー」が行われ、ICT 活用授業研究の理論面、東京農工大での FD Commons による授業観察支援の実際などについて紹介していただきました。講演終了後は、フロアを交えた活発な議論が行われました。

その後、3会場にわかれて9件の個人研究・個別事例発表が行われました。実務担当者からの事例発表であり、各会場とも、学会とは異なる視点から現場での熱意ある取組の紹介および活動推進における問題点指摘など、今後のeラーニング推進にとって貴重な情報交換が行われました。

個人研究・個別事例発表につづいて、再び会場を自然科学棟レクチャーホールに戻し、第1部会、第2部会、第3部会・eラーニング活用事例調査委員会合同の3件の報告がなされました。第1部会では、関西大学からCEASについて、熊本大学からBlackboardについて、それぞれのインターフェイスおよび活用事例について、第2部会では、ポートフォリオによる教育支援について、最後の合同報告では、教材共有および個別事例について調査したアンケート結果について、それぞれ報告が行われました。

最後の総括では、改めて東日本大震災で教育環境に影響の出た大学への支援について、大学eラーニング協議会として支援活動を取りまとめ、文部科学省へ提案することについて議論を行い、教材提供、eラーニングシステム提供、教材作成支援、eラーニング運営支援など各参加大学からの支援検討状況を踏まえ、スケジュールを含め、一定の方向性を見いだすことが出来ました。

フォーラム終了後、自然科学図書館棟「すみれ亭」において懇親会が開催され、50名弱が参加し、フォーラムの熱気そのままに、活発な意見交換、歓談が行われました。



部会報告



懇親会

3. 大学高度教育基盤システムの導入について

信州大学 不破 泰

eラーニングを研究対象としている研究者は、eラーニングにより大学の教育をより良いものにしようと取り組み続けています。それは、時間や場所の制約を超えた学ぶ場を創造できることや、個々の学生の状況を把握してそれに応じた個々の学生に合わせた教育が出来るといったeラーニングが持つ特性に大きな可能性を確信しているからです。そのことは、端的に言うとも教育に様々な支障がある学生により良い教育の場を提供しようというものです。

3月11日に発生した東日本大震災では、多くの大学で学生の教育に重大な支障が出ています。建物やインフラに被害が出た東北地方の大学の学生のみではなく、計画停電の影響を受けた関東地方の大学の学生にも支障が出ています。開講時期が遅れる、授業回数の確保が困難になるなどの状況に対して、eラーニングに取り組んでいる我々は何が出来るのか。大学の被災状況、授業への影響、すでにeラーニングの教材コンテンツを持っているかどうか、他大学のコンテンツ活用の可能性、遠隔講義の可能性、土日を含む授業開講日以外での柔軟な授業運営(補講対策)、そのために平日9時-17時以外の時間も動作を保証する堅牢なシステムの構築等々。大学eラーニング協議会に参加している多くの研究者は、被災大学の実情や配慮しなければならないことを調べた上で間接的・直接的に震災の影響を受けた大学の皆様のお役に少しでも立てればと考えています。

そんな思いを持ち、我々は3月25日に金沢大学で開催された大学eラーニング協議会の総会で話し合いを持ち、実際に行動に出ています。具体的な取り組みは次の3つです。

(1) eラーニング教材を既に持っている大学に対して、被災大学に対するeラーニング教材の提供を呼びかける

(2) この教材を土日を含む24時間、毎日安定して運用できる教育システムと学生の認証を安全に行う認証基盤を構築する

(3) eラーニング教材を用いた教育の経験が無い大学に対するサポート体制を整える

現在、おかげ様でeラーニング教材は500週分を超える様々なものが集まりました。これからも被災大学が必要とするより多くの教材を集めます。また、その教材を運用する教育システム(これを、我々は「大学連携高度教育基盤システム」と呼んでいます)を安定して稼働させる環境をクラウド上に作りました。認証基盤も準備が終わりました。

今回の取り組みは3つのフェーズで考えています。

(フェーズ1) 2011年度の緊急時期

(フェーズ2) 計画停電が続く数年間の時期

(フェーズ3) その後の10年単位で考える時期

フェーズ1は緊急で協力企業や大学がボランティアで活動する時期です。フェーズ2はいろいろな状況が落ち着いてきてそれでも計画停電で授業に支障が出る時期で、きちんとした対価のもとで安定した運用を行う時期です。

フェーズ3はそれらが終わった後の時期です。フェーズ1、2でeラーニングを通じて、eラーニングは単に教育の支障を補うものではなく、より良い教育のために役に立つのだということを理解が深まり、eラーニングを教育の質の向上を目的として使い続けるフェーズです。2011年の震災は大変不幸なことでありましたが、それを期に日本の教育はまた大きく前進したよと後世に評価されるようにしなければ、今回の震災の多くの被害者の方々に申し訳ないと思っています。

大学連携高度教育基盤システムは、4月15日に関係者が東京に集まり構築を開始し、4月22日にオープンしました。1週間もない準備時間のなかで、多くの教材があつまり、また骨太のクラウド環境が動きだし、強力な認証システムも準備が完了しました。これは、今回の取り組みに対して快く協力いただいているニフティ(株)、住商情報システム(株)の大きな働きと、LMS環境の検証をされたり様々な学内手続きを急ぎ行った上で教材を提供していただいた多くの大学の皆様のおかげです。

これからが本番です。被災大学の多くの方に有用なものとなるため、被災大学のご意見を聞きながら教材の充実、eラーニングを用いた教育方法についての相談サポートの開始等やるべき事はたくさんあります。このニューズレターが届く頃には、これらのことがかなり進んでいるはずです。

今回の大災害に対してeラーニングが何の解決手段も提供できないのであれば、そんな教育手法はまさに机上の空論、もしくは恵まれた環境のなかでの恵まれた人たちの教育にしか役に立たないものになってしまいます。大きな災害が起きた場合、そこからの復興では教育が果たす役割は通常よりより大きなものとなります。この教育の機会を保証したうえで、より良い教育の場を創り上げたい、eラーニングを用いて日本の教育はまた一歩より良いものとなったと誇りを持って言えるようになりたいと願いながら、これからも活動を続けます。

なお、この「大学連携高度教育基盤システム」の活動は日々変化しています。状況は随時HPでお知らせしますので、今後とも力強いご支援をよろしく願いいたします。

4. 2011年度第1回協議会全体ミーティングのご案内 ※別途ご案内をお送りいたします

■日時 2011年9月8日(木)

※9/6(火)~9/8(木)の日程で、私立大学情報教育協会「教育ICT戦略大会」がアルカディア市ヶ谷で開催されます。この日程に合わせました。

全体ミーティング 13:00~17:15

情報交流会 17:30~19:30

■会場 法政大学 市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー

■次第 10:30~12:00 幹事校ミーティング

13:00~17:15 会場校事例紹介、全体ミーティング、部会ミーティング(予定)

17:30~19:30 情報交流会

※幹事校については、10:30~12:00で幹事校ミーティングを予定しております。

5. 2011 年度事業予定

①第 1 回協議会全体ミーティングの開催(夏期) ※前掲

②「e-Learning Awards 2011 フォーラム」への後援

開催時期：2011 年 11 月 21 日 (月)・22 日 (火)

会 場：UDX Gallery (東京 秋葉原)

・上記フォーラム内での、公開フォーラムの開催

開催時期：2011 年 11 月 21 日 (月) 又は 22 日 (火)

開催内容：当協議会による発表会を開催予定

会 場：UDX Gallery (東京 秋葉原)

・第 2 回協議会全体ミーティングの開催(冬期)

開催時期：2011 年 11 月 21 日 (月) 又は 22 日 (火)

開催内容：幹事会及び部会ミーティングを予定

会 場：未定

③総会・フォーラム 2011 の開催

開催時期：2012 年 3 月 16 日 (金) ※予定

会 場：熊本大学

6. 事務局からのご案内

■新規加盟のご案内 (6 月末現在)

金沢工業大学、北翔大学

※6 月末時点で、加盟大学が 30 大学、賛助会員が 2 社です

■会費納入のお願い

2011 年度、会費未納の機関は、納入をよろしくお願いたします。

振込口座 銀行名：北洋銀行 支店名：千歳中央支店 口座番号：普通 4126901

口座名義：ダ イ クイラーニングキョウカイ

大学 e ラーニング協議会

■加盟大学イベント案内

加盟大学主催のフォーラム等の案内を当協議会ホームページ上でご案内させていただいております。掲載を希望する大学は事務局までご連絡下さい。

加盟大学イベント案内 URL <http://www.uela.org/src/activity/activity.html>

※協議会加盟大学の皆様が学会表彰を受けられたニュース等もニューズレターに掲載させていただきたいので、情報がございましたら是非お寄せください。

大学 e ラーニング協議会ニューズレター NO.3

2011 年 7 月 15 日 発行

事務局：千歳科学技術大学 教育連携推進課

〒066-8655 北海道千歳市美々 758 番地 65

TEL: 0123-27-6044 FAX: 0123-27-6007

<http://www.uela.org/> E-mail: uela-office@uela.org